

3・11シンポジウム

東京電力福島第1原発事故5年 チェルノブイリ30年

核の危険 放射能被害の根絶を

東京電力福島第1原発事故から5年、チェルノブイリ原発事故から30年を迎えました。原発事故の被害の実態について学び合い、被害者への支援を強める機会とするため、また「核の被害者をつくらせない」の願いの一つに、原発の再稼働と輸出に反対し、原発からの脱却と自然エネルギーへの転換を求める運動との連帯を強める場とするためにシンポジウムを開催します。

日 時：2016年 **3月11日** (金) 午後 **2時~5時** (1時30分開場)

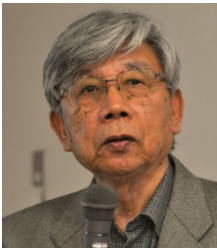
会 場：平和と労働センター・全労連会館2階ホール

アクセス→ <http://www.zenrouren-kaikan.jp/access.html>

主 催：原水爆禁止日本協議会

参加費：資料代として、大人1000円、被爆者・大学生500円、高校生以下無料

報告者：



■東京電力福島第一原発の現状と核燃料サイクルについて

たての じゅん
舘野 淳さん

(核・エネルギー問題情報センター事務局長)



■福島からの証言

さいとう おさむ
齋藤 紀さん

(日本原水協代表理事、わたり病院医師)



■原発再稼働・輸出に固執する日本政府の姿勢を斬る

やまぞえ たく
山添 拓さん

(弁護士・「生業を返せ、地域を返せ！」福島原発事故被害弁護団)

*国会議員に参加を要請していましたが、政府主催の東日本大震災五周年追悼式と重なり都合がつかせませんでした。

国連認証NGO・原水爆禁止日本協議会 TEL 03-5842-6031 FAX 03-5842-6033

ホームページ：<http://www.antiatom.org/>

聞いてみたいことを受付中！→ Email：antiatom55@hotmail.com